

発行所 社会福祉法人 正心会

老人福祉施設 さぎそう園

〒666-0152 川西市丸山台3丁目5番地の6

TEL/072-794-7600(代) FAX/072-794-7573

総合福祉施設 ハピネス川西

〒666-0025 川西市加茂3丁目13番26号

TEL/072-755-1313(代) FAX/072-755-1314

ホームページアドレス: <http://www.seisin.or.jp>

平成28年3月
第50号

正心会 みちのり



過ごしやすい季節になってまいりました。ハピネス川西デイサービスでは今年も雛人形を飾りました♪♪雛あられもとても喜ばれていました!!
～少し緊張しながらもいい笑顔で写真撮影にご協力いただきました。～

ご挨拶



理事長 生駒 二郎

陽春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃よりご利用者、ご

家族の皆様、地域及び各関係機関の方々には多大なるご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、福祉を取り巻く環境は依然として、介護保険制度が始まって以来経験したことのない厳しさにあります。ますます高齢化が進む社会にあつて今後も厳しい環境が続いていくものと予想されますが、困難な変化の時代であるからこそ希望ある心豊かな生活を送って頂けるよう努力を積み重ね、基本理念に沿った魅力ある法人作りを目指しております。

また、昨今地域課題が多様化し、多くの施策において地域福祉の充実を目指す方向性が示される中において、地域交流スペース等を活用して地域の皆様との幅広い交流や、生駒グループのグループ力を活かして多種多様なサービスを提供出来るよう、地域福祉への貢献・強化にも努めて参りたいと考えております。

昭和61年に川西市内で最も早く開設されたさぎそう園は、本年開設30周年の節目を迎えます。この節目にふさわしい一年となりますよう、高い専門性と豊かな人間性を備えた人材を揃え、ご利用者の皆様へのきめ細かいサービスはもちろん、地域の皆様への貢献と社会的な使命を果たせるよう、全職員一丸となって邁進して参る所存でございます。

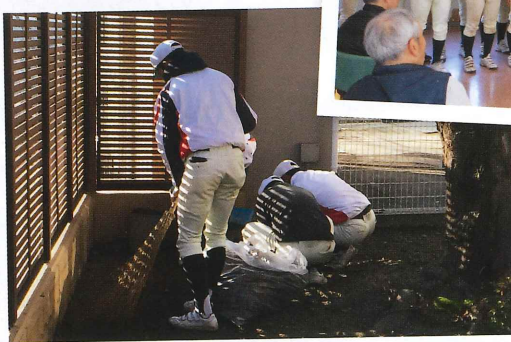
今後とも変わらぬご指導・御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

みなさま ありがとうございます♪

川西緑台高校 野球部のみなさま



昨年の年末に川西緑台高校野球部の皆様が恒例の施設清掃・合唱演奏のためボランティア活動を行って下さいました。きびきびとした態度と若さ溢れる行動に感動させられました。今後のご活躍を期待しています。



川西北陵高校 1年生のみなさま



今月、川西北陵高校1年生の皆様が勤労体験学習の一環としてさぎそう園に来園されました。学校からさぎそう園までの往復は全員徒歩でしたので大変だったと思います。みなさん園内をしっかりときれいに清掃して下さいました。本当にありがとうございました。



祝い箸 を頂戴しました

さぎそう園では今年のお正月も恒例となりました北陵地区民生委員児童委員の皆様から祝い箸をご寄贈いただきました。一つ一つ丁寧に飾られた箸袋はどれも彩り鮮やかで、おめでたい気分をより一層盛り上げ、皆様喜ばれていました。この場をお借りしまして、厚く御礼を申し上げます。



こんにちは
障がい者
デイサービスです



「豆まきしたよ!!」

2月3日は節分の日! ということで、2月2日から5日にかけて豆まきを行いました。

この日ばかりは職員もご利用者さんも豆まきに興じておられ、今年も福をいっぱい呼び込んでおられました。



こんにちは
作業所です

紙漉き作業を始めました

大阪の社会福祉法人ねやのさと福祉会『あすなる障害者作業所』様より、紙漉き作業の道具や乾燥機をご寄付頂きました。ありがとうございます。

まだまだきれいな紙を作るのは難しいですが、製品化を目指して頑張っています。



均等に漉くのは
難しいけど楽しい

ハピネスのお菓子
の下に敷く紙が
できました



ふれ愛バザール

去る2月20日(土)にアステ川西にて「ふれ愛バザール」が開催されました。ハピネス川西作業所から販売させて頂き、自慢のクッキー・パウンドケーキなどご利用者の方も参加され、一生懸命売りこんでくれました。





ナホトカ港と舞鶴

『戦時中の遠い記憶』

昔の話といえばやっぱり戦時中の事はとても記憶に残っているかな、皆苦労したからね。

私は兵庫県朝来郡 山口村（現在の朝来市）で生まれてその地で育ちました。当時は小学校卒業後、男子は中学校、女子は女学校に入学するのが普通でね。県立高等女学校は第一、第二と二つあって「県一、県二」なんて略して話す同世代の人を見ると今でも思い出します。

女学校を卒業して19歳の時に、当時子供のいなかった叔父の跡取りとして、いとこ同士でお見合いをして結婚しまし

た。夫は子供のころからの顔見知りでした。昔は家柄や格式なんてものを気にする時代だったのでこういう形で結婚する人や、初対面で突然結婚が決まってしまう人もたくさん居られました。もう死別して35年ぐらいになるけれど良い人でしたよ。

夫との間に男の子を二人授かってまだ幾らも経たないうちに、第二次世界大戦が始まって、夫は今でいう朝鮮半島の38度線近くへ軍人として派遣されました。終戦後、外地にいた軍人たちは、それぞれの港から船に乗り込んで「やっと舞鶴へ帰れるぞ。」と話していたのに、どうも航路が違うなぁと途中から不審に思っていると、そのまま当時ソ連領のナホトカ港へ到着してしまっただけです。いわゆるシベリア抑留というものです。夫はその集団の中でも少し上の立場にいたのでソ連軍に呼び出されて思想や考え方に対しての厳しい質問攻めにあいましたが「自分は学が無い。カタカナしか読めない。そのような事はわからない。」と質問をかわして、なんとかその場を凌いだようです。

私は夫の実家で両親と共に夫を待ちながら生活していましたが、当時は食料も満足に手に入らないのでどんなに小さな土地でも隙間があれば食べ物の苗を植えて育てていました。農家や家事を手伝いなんとか子供たちを養っていましたが、夫が戻ってから日本は軍需産業が一気に廃止され三菱なんかの大企業ですら働き口があまりなく、特にシベリア抑留組はソ連の思想に染まっているのではないかと疑われたりして苦労しました。ちょうど親族が商売をしていたのでその手伝いをしたりしてなんとか生計を立てていたかなあ。

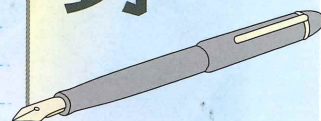
最近は空いた時間はよく折り紙をしています。まあ老化予防の意味もあるけど、すぐ時間が経つのでコマなんかを作って面会に来てくれる家族にあげたりしています。自分の話は照れるのでこれくらいにしてね(笑)



ハピネス川西
ケアハウス
とうじ よしこ
田路 吉子様

私

め
見聞録



幼い頃から音楽が大好きで、小学生からギターを始めたのをきっかけに学生の頃はキーボードやドラムなど、時間があればとにかく楽器をいじっていました。また、作詞作曲やレコーディングなどにものめり込んで、夢中で音楽に没頭していました。そのうち仲間と共にバンドを組み、自分達で創った曲をライブハウスで演奏したりして青春時代を過ごしました。また、ストリートミュージシャンとして駅などで歌



さぎそう園
特養主事
池田宗一郎さん

音楽は永遠の友達

人財発掘

おたから





車椅子研修

ハビネス川西では今年の2月に車椅子のポジショニング研修を行いました。ヒトの体は同じ姿勢を長時間続けると血の循環が悪くなったり、筋肉の一部が緊張したまま凝り固まってしまったりと身体的に様々な弊害が出てきてしまう為、それを防ぐ為に防衛反応としてほぼ無意識的に座りなおしたり、背筋を伸ばしたり、足を組み替えたりしています。



高齢者の場合は病気の後遺症などにより自分で身体を動かすことができない方達も多く、そのお手伝いを周囲の人が行わなければなりません。この研修は車椅子に座っている際の体位交換や介助時の注意点・方法などについて機能訓練指導員の指導のもとに実施された研修です。車椅子で座っている際の姿勢や手足の位置の保持等クッションを使い心地よい体位にする為にはどうすれば良いのかを実践し学びました。

今後の介護に活かせるよう職員は皆真剣な表情で話を聞いていました。



うことも多く、そういった活動の中で多くの人に会えることができました。その中には現在もプロのミュージシャンとして活躍されている「花*花」「植村花菜」「コブクロ」などの有名人の方もいます。そういう人達も含め、今も繋がりを続ける友人達や、普通に生活していれば会える事のない、音楽を通じて繋がる事ができた「奇跡」だと思っています。社会人になって音楽活動はやめてしまいました。音楽が僕の人生の基盤になっていえると言えそうです。またいずれ機会があればみなさんの前で披露させていただくかもしれません。その時は優しい目で見えてやって下さい。(笑)



行事報告

行事食

2月といえば節分。節分といえば恵方巻き!! 今年も栄養課より恵方巻きが振る舞われました。もちろん高齢者の方にも食べやすく、ちらし寿司にしたり、細かく切ったりと配慮しています!!

今回はハピネス川西での2月3日の特別メニューにスポットを当て、実際に手巻きしている写真も交えてご紹介したいと思います。

3月3日はひな祭りということで、ちらし寿司が振る舞われました。



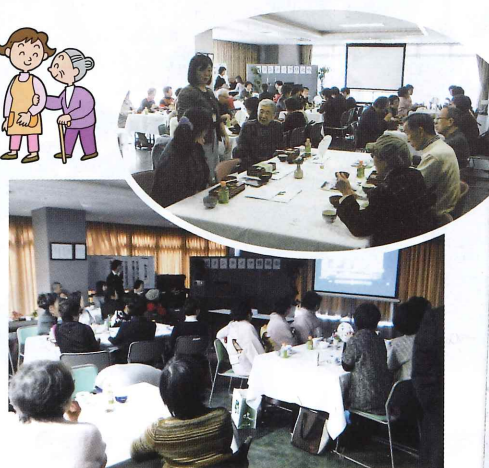
3月3日のひな祭りの特別メニューです!!

ボランティア懇親会

2月27日(土)ボランティア懇親会を行いました。

ボランティアのみなさまに感謝の気持ちを伝えたいという思いから、昨年6月よりボランティア担当職員で試行錯誤を重ね、昨年までとは形を変えたボランティア懇親会を行いました。日頃の活動内容をスライドにし、他のボランティア活動の様子を知っていただくことで会場が盛り上がりしました。また、ハピネス川西のご利用者がボランティアのみなさまのおかげで生き生きとされている姿を知っていただく機会にもなりました。これからもよりしくお願いいたします。

また、ボランティアに興味がある方は各事業所までお気軽にご連絡ください。



ボランティア懇親会会場

ハピネス川西ケアハウス

入居希望者受付中



自立した健康で豊かな生活をスタッフ一同心をこめてお手伝いさせていただきます。

【対象】

- 60歳以上の方
- 自炊が困難など一人で生活するのに不安がある方
(ご夫婦の場合はどちらかが60歳未満でも可)

※見学・入居申込みは随時承っております。
お気軽にお電話下さい。

●お問い合わせ● ハピネス川西ケアハウス
TEL 072-755-3317